

平成 30 年度 第3回 政策調整会議 会議録①

◆開催日時:平成 30 年6月 22 日(金) 17:01~17:28

◆開催場所:第2委員会室

◆出席委員:小山副市長、土佐副市長、樋口教育長、赤井市長公室長、藤浪企画調整部長、
坂井総務部長

◆審議事項

- ・平成 31 年度国家予算に対する要望について……………企画課⇒承認
- ・平成 31 年度大阪府予算に対する要望について……………企画課⇒承認

◆審議概要

『平成 31 年度国家予算に対する要望について』

『平成 31 年度大阪府予算に対する要望について』

〈説 明 者〉上東企画課長、中井担当長、前田担当員

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈小山副市長〉新規の要望はあるのか。

〈企画課長〉府に対する中核市移行にかかる人的・財政的支援の要望のみである。

〈土佐副市長〉要望を提出する際の様式はこれと同様のものか。

〈中井担当長〉そうではない。それぞれの会派から指定のあった様式にて提出する。

〈土佐副市長〉それは項目ごとに分かれているのか。

〈中井担当長〉そうである。

〈土佐副市長〉要望事項の中で市として重点的なものとそうでないものの精査を行い、整理したものをメモ程度のもので良いので作成願いたい。

〈企画課長〉実際の要望活動前には、庁内で調整し、準備してから要望に何う予定である。その辺りの調整、整理は改めて行う。

〈土佐副市長〉では、実際の要望は先になるため、そういった踏み込んだ話は改めて整理するという形で今回は決定会議に諮るということで良いのか。

〈小山副市長〉大阪府港湾局については、長年要望しているが実現していないため特に注力していただきたい。

〈土佐副市長〉港湾局のように、長年言い続けているがなかなか実現されないものについて、市長から府に伝えてほしい思いを決定会議では述べていただきたい。また、要望事項ごとにどこが論点でどこまで話が進んでいるかなどの整理を要望する前に意識統一しておくべきではないか。

〈企画調整部長〉事前に担当課と調整をして、今の取り組み段階や過去の経過などの資料もいただいている。また、昨年要望した際の大阪府からの回答もいただいている。それらをまとめたものを持ち資料として項目ごとに作成させていただくことは可能である。

〈土佐副市長〉それを決定会議で提示願いたい。

〈企画課長〉承知した。

〈土佐副市長〉本内容で政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり、政策決定会議に付議する。

平成 30 年6月 15 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 企画調整部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	平成 31 年度 国家予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	平成31年度国家予算の編成に向けての要望事項について、決定していただきたい。
説明者	上東企画課長 中井担当長 前田担当員
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	平成30年度 第3回会議
付議事項	平成31年度 国家予算に対する要望

★取組の目的

対象	本市の国家予算に対する要望
どのような状態を目指す	本市の国家予算に対する要望を的確に各大阪府議会議員団に伝え、国において要望内容が可能な限り実現されることを目指す。

★総合計画上の位置付け

202010202	基本目標	Ⅱ-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	イ 時代を先取りした施策を積極的に推進する

★現状と課題

<p><現状> 国の財政状況の悪化により、国から本市への補助金が減少している。</p> <p><課題> 国からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となるため、継続して国に要望する必要がある。 なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。</p>

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
各大阪府議会議員団を通じて、国に対し要望する。								
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源							
	その他							
事業費	計			H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
				0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
有					
無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	H28年度	H29年度	H30年度	目標値				
					H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。

平成 30 年6月 15 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 企画調整部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	平成 31 年度大阪府予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	平成 31 年度大阪府予算の編成に向けての要望事項について、決定していただきたい。
説明者	上東企画課長 中井担当長 前田担当員
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	平成30年度 第3回会議
付議事項	平成31年度大阪府の予算に対する要望

★取組の目的

対象	本市の大阪府の予算に対する要望
どのような状態を目指す	本市の大阪府の予算に対する要望を的確に各大阪府議会議員団に伝え、大阪府において要望内容が可能な限り実現されることを目指す。

★総合計画上の位置付け

202010202	基本目標	Ⅱ-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	イ 時代を先取りした施策を積極的に推進する

★現状と課題

<現状>
大阪府の財政状況の悪化により、大阪府から本市への補助金が減少しているほか、本市に係る大阪府の各種整備事業が進んでいない状況にある。

<課題>
大阪府からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となり、大阪府の本市における各種整備事業の遅延は、市民の住環境等に大きく影響を及ぼすため、継続して大阪府に要望する必要がある。なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
各大阪府議会議員団を通じて、大阪府に対し要望する。								
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源							
	その他							
事業費	計			H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
			0	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
有					
無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	H28年度	H29年度	H30年度	目標値				
					H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。